

学校便り「尚徳」3月号  
第454号  
鳥取大学附属小学校  
平成22年3月10日  
<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>  
題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



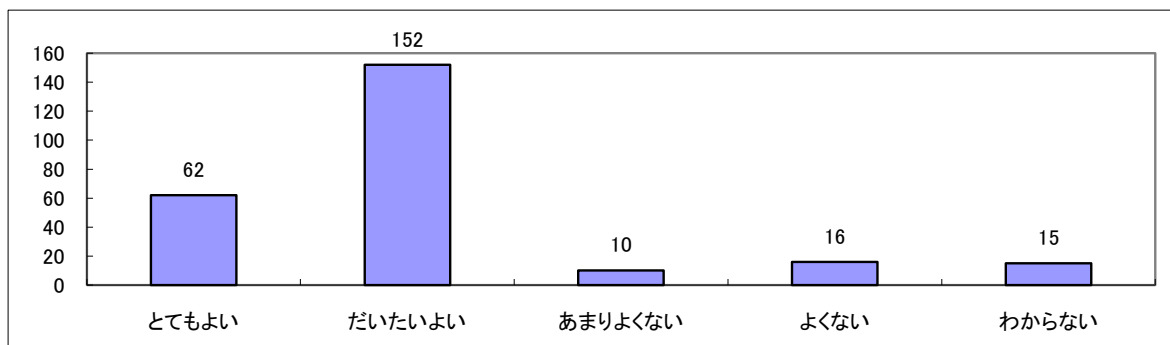
## 平成21年度本校教育に対する保護者アンケート結果

本年度の本校教育に対する保護者の皆様のアンケート結果をまとめました。ご協力をいただき、本当にありがとうございました。昨年に比べ、「あまりよくない」「よくない」の評価人数が全体的に少し増えました。このことは、平素から積極的に本校の教育活動をつぶさに見ていただいている結果であるのとらえています。と同時に、日々の教育活動の具現化・質の向上への工夫が不足していたのではないかと反省しているところです。来年度は、今まで以上に優れた教育実践の構築をめざして努力したいと思います。今後も、保護者の皆様のご要望やご意見を生かしながら、本校の特色ある教育活動を継続発展させるとともに、課題解決に向けて一層励みたいと思います。ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

(家庭数349 回収数 255 回収率73 %)

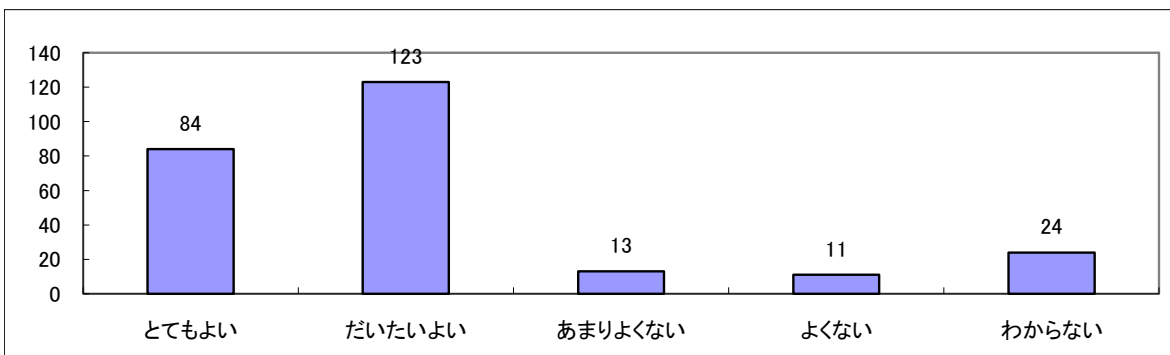
※ グラフ内の数字は人数を表す

### 項目1 わくわくする学校



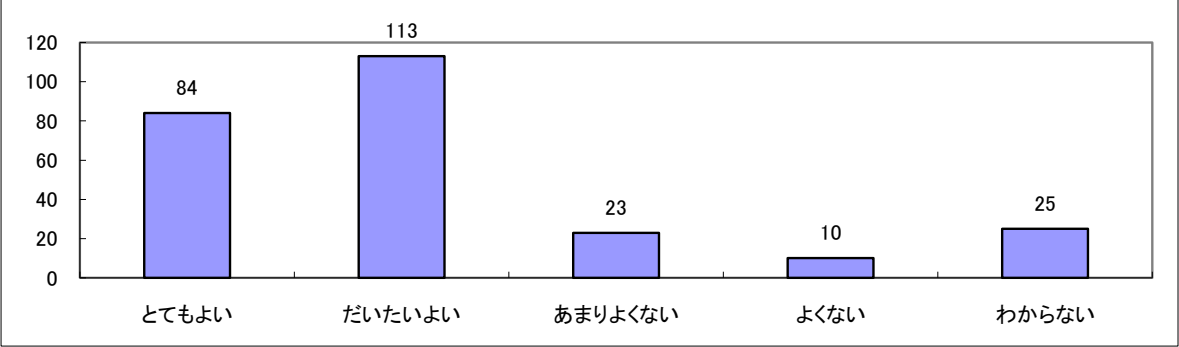
教室外での体験学習や調べ学習、学校シリーズをはじめとする各種行事などに、子どもたちは主体的に取り組むことができました。今後も、子どもたち一人一人が目標をもって創造的に学習できる場を設定していきたいと思います。学力向上という面では、基礎的・基本的な学習は当然のことながら、個々の実態に応じて発展的な学習も取り入れたいと考えています。

### 項目2 学ぶ意欲と学力向上



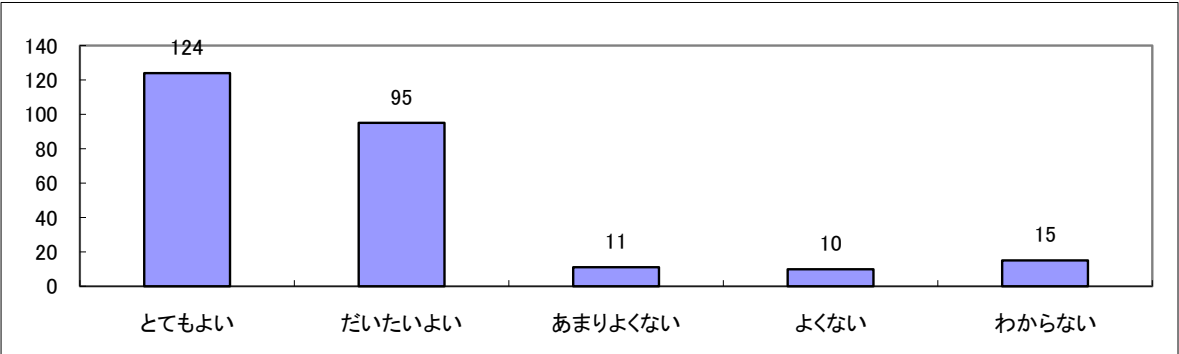
人の前で話したり表現したりする力が伸びてきたように思われます。そのもととなる「聞く力」「読む力」「書く力」などの基本的な力の育成を今後も大切にしていきたいと思います。新しい学習指導要領に示されている言語活動の充実という面からも、校内における様々な言語環境を整えるとともに、図書館を利用した学習の充実に図りたいと思います。また、パソコン等の情報機器の活用をさらに積極的に進めていきたいと考えます。

項目3 附属学校園との連携



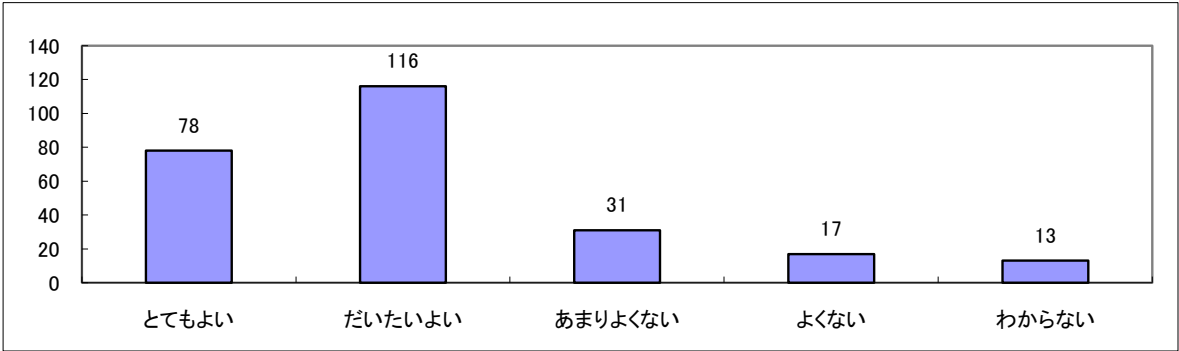
附属学校園との交流は、子どもたちにとってよい学びとなっており、相手のことを考えたり優しい気持ちを育むことができる活動です。継続的に取り組み、さらに活性化を図っていきたいと思います。ただ、附属中学校との連携が具体的な姿としてみられないという意見を多数いただきました。小中連携を具現化するための組織や交流活動などの取り組みについて、積極的に本校から附属中学校に提案していきたいと考えています。

項目4 魅力ある学校



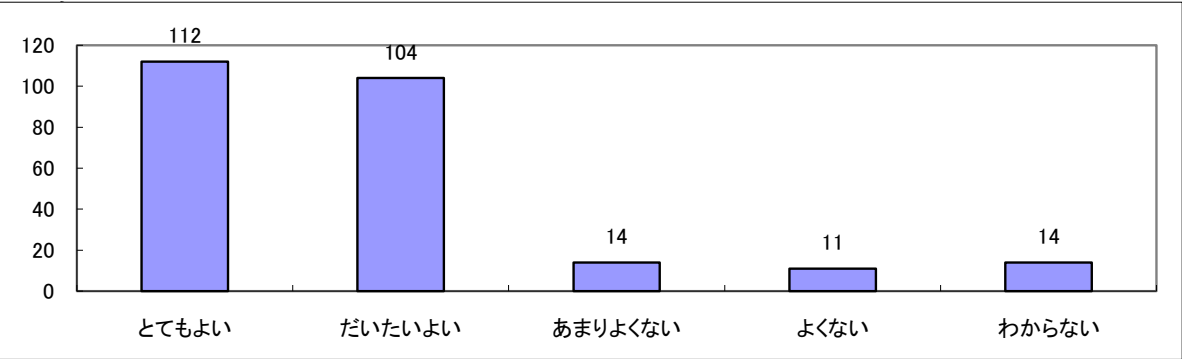
芸術体験や出前授業など、本物にふれる機会や専門家から学ぶ取り組みは、附属ならではの教育活動です。大学探検など大学施設を利用した学習も効果的であったと思います。さらに魅力ある教育活動を多く取り入れることによって、学習の幅を広げていく努力をしたいと思います。

項目5 思いやりと規範意識の醸成



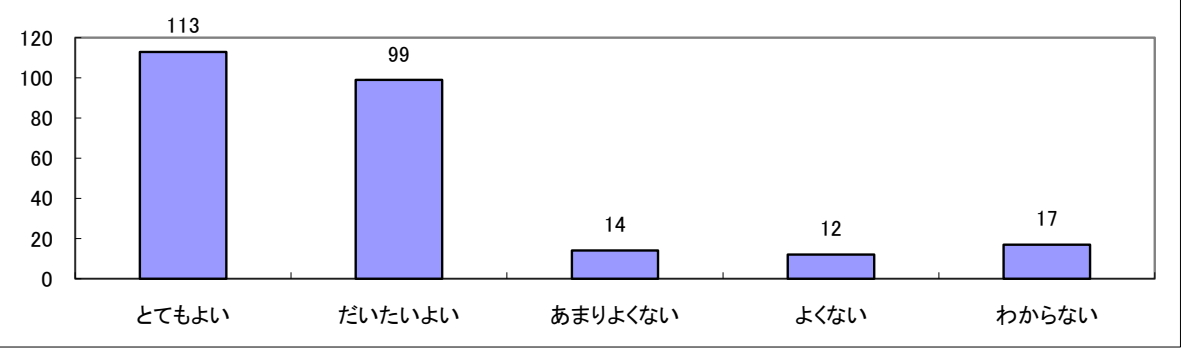
学校に行くと子どもたちが目を見てあいさつをしてくれてすがすがしい気持ちになった、という感想もあれば、もう少し指導をしてほしいという意見もあり、家庭におけるしつけと学校における指導の連携協力した取り組みが必要です。附属小の子どもでもあるという帰属意識の醸成を図りながら、公共交通機関における乗車マナー・社会のルールを家庭や地域とともに身につけさせたいと思います。

**項目 6 安全に関する教育・体制、家庭との連携**



新型インフルエンザの流行した本年度は、特に緊急メール送信システム(メルポコ)の効用が大きかったと思います。ただ、保護者の路線別懇談会への出席率の低さや子ども見守りボランティアへの理解不足など、子どもたちの登下校時の安全確保について、家庭と一層協力していくことが課題であると考えます。

**項目 7 国際理解教育**



大学の留学生との交流、ワールドタイムや英語活動などについて支持・賛同の意見が多くありました。また、春川教育大学附設初等学校との交流に対する期待や意見も大切にしていきたいと思います。今後は、英語活動のカリキュラム作成・改善と合わせて、国際理解教育をさらに充実したいと考えます。

**まとめ**

本年度は、附属小ならではの教育活動(学校シリーズ、まなびの時間、大学との連携、国際理解教育など)に肯定的な理解と評価をたくさんいただきました。特に大学との連携は、大学側の力強い協力もあり、かなり進んできたように思います。来年度もさらに連携を強化していく予定です。一方、思いやりの心の育成や規範意識の向上、附属学校園(特に附属中学校)との連携の在り方などについての課題が残りました。全てのことを一度に解決・改善できないかもしれませんが、一つ一つの内容を真摯に受け止めて対応策を出していきたいと考えます。なお、本年度より本校のホームページを大学の支援も得て大幅にリニューアルしました。月に2回の更新で、本校の教育活動の内容等をお知らせしています。子どもたちの活動の様子を随時見ていただけるよう、さらにバージョンアップしていく予定です。今後ともご利用をよろしくお願いいたします。